**まちかど　222号　令和6年6月発行号　表面　音声案内**

地域情報紙名 街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙　まちかど　荏原第一地域新聞

発行事務局　　荏原第一地域センター

事務局住所　　小山３丁目１４番１号

電話番号　　　３７８６－２０００

FAX　　　　　 ３７８６－５３８５

各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号のまちかどは令和6年8月発行予定です。まちかどカラー版は、品川区役所ホームページからご覧いただけます。

紙面のQRコードよりアクセス可能です。

**紙面右上部掲載記事　題名　町会員の集い　小山台一丁目町会**

**写真掲載有　町会員の集いの様子**

**記事内容**当町会では3月10日の日曜日に、小山台一丁目防災広場にて、町会員の集いを開催しました。例年3月に行っている行事ですが、コロナの影響により、5年ぶりの開催となりました。当日は当町会の河野義男町会長の挨拶から始まり、防災体制整備担当課長より防災広場の説明もありました。

行事の内容としては、役員がいそべ餅、フランクフルト、焼きそば、味噌おでん、おしるこの模擬店を開きました。また、地域の信用金庫からポップコーンの提供もありました。

町会員同士が交流したり、小学生以下のお子さんと高齢者クラブの方へ、無料券をプレゼントしたりしました。当日は早くから大勢の参加者にお集まりいただき、模擬店が間に合わないほどでした。お子さんからお年寄りまで楽しく話をされ、たくさんの笑顔とともに大盛況の中終わりました。

**記事作成者**小山台一丁目　谷内　真紀子

**紙面中央部掲載記事　題名　荏原消防少年団　総務大臣賞　受賞**

**写真掲載有　総務大臣賞受賞の様子**

**記事内容**　荏原消防少年団は、令和5年度優良少年消防クラブ表彰において、特に優良な少年消防クラブとして総務大臣賞を受賞しました。

　令和6年3月27日、イイノホール＆カンファレンスセンターにて表彰式が挙行され、高学年団員23名が出席しました。表彰式当日は、ひらつか隊隊長と、とごし隊隊長が登壇し、総務副大臣から表彰盾を受領しました。翌日には森澤区長へ受賞の報告を行いました。

　荏原消防少年団は、防火防災に関する知識や技術を学びながら、様々な地域行事に参加し、区民の方々に防火防災を呼びかけてきました。令和5年度は、地域の美化活動などの社会奉仕活動として武蔵小山商店街の清掃を行いました。

　今回の総務大臣賞は、全国の消防少年団の中から27団が対象となり、そのうち東京都では、荏原のほかに王子、田園調布、滝野川、玉川の各消防少年団が表彰されました。

　今回の表彰は、日頃から各種訓練や奉仕活動、広報活動を通じて、地域防災活動の担い手となる人材を育成し、地域住民と連携を図って活動していることが評価されました。

　現在の荏原消防少年団の体制は、勝山団長を中心に小学2年生から高校生団員まで70名で活動をしています。防火防災の知識、技術を学ぶ活動を概ね1か月に1回行っています。団体生活を通じて協調性を育み、周囲の人を思いやることができる優しさの醸成と責任感のある人格形成、そして地域の防災を担うリーダーとして成長できるよう日々取り組んでいます。

**記事作成者**荏原消防署　警防課　住宅防火対策担当係長　落合

**紙面左下掲載記事　題名　女神様　いちきしまひめのかみを祀った矢の川弁財天**

**写真掲載有　矢の川弁財天、セメントで造られた祠**

**記事内容**道路一本挟むと目黒区という小山四丁目には、緑道公園から赤い鳥居が見える矢の川弁財天があります。弁財天は古来より龍蛇信仰があり、水を司る神で、美しい女神様を祀ったものだと言われています。ご神徳は財運、商売繫盛、五穀豊穣、また、芸能や学問などにもご利益があります。境内には湧水を引いた小さな池があり、いつも清らかな水の中を色とりどりの鯉が泳いでいる姿がみられます。

　この地に弁財天が建立された経緯は不明ですが、ここの祠はセメントで造られており、世話人のお一人である稲葉勝裕さんの祖父(大変腕の良い左官職人であった稲葉賢造さん）が昭和30年に奉納した当時の写真が残っています。鏝ひとつで造り上げた立派な祠は現在でも健在です。

　弁財天には縁日があり、つちのとみの日に巳まつりが行われます。5月29日巳の日に、三谷八幡神社の大竹宮司のもと神事が執り行われ、ご祈禱いただきました。世話人代表の根岸利さん他20名ほどが参列しお一人お一人が玉串を捧げた後、祠の前で大竹宮司と共に、なおらいにて歓談しました。

　武蔵小山駅から徒歩6、7分のところにある矢の川弁財天に是非ご参拝され、ご神徳をいただいてください。

**記事作成者**　小山四丁目　東　美佐栄

**紙面左上掲載記事　題名　花めぐり　クチナシ**

**写真掲載有　令和6年5月 小山一丁目で撮影**

**記事内容**　雨上がりの庭で　くちなしの香りの　やさしさに包まれたなら　きっと～魔女の宅急便の主題歌にもなった松任谷由実さんの歌。クチナシは梅雨時に甘い香りを漂わせ真っ白な花を咲かせます。春のジンチョウゲ、秋のキンモクセイと共に日本の三大香木といわれます。

秋に赤橙色の楕円の実を付けますが、この実は染料や食品の着色料にも使われます。

　クチナシの名は果実が熟しても裂開しないため口の無い実で口無しという説があります。

昔、クチナシの小さい枝に紐を付け、子供の首におまじないとして掛けていたよ。悪い病気が口から入らないようにねと、大正生まれの母の話です。花言葉はとても幸せです、優雅、喜びを運ぶなど。

**記事作成者**小山一丁目　河原　マサ江

**紙面右下掲載記事　題名　お花見　荏原四丁目町会**

**写真掲載有　屋上デッキでの記念写真**

**記事内容**当町会は毎年桜の開花時期に合わせて桜まつりを実施しております。今年は3月31日の日曜日に屋形船を貸し切り、町会の子供達も含め35名の参加者と楽しい時間を過ごして来ました。

　当日は快晴に恵まれ、春の暖かさを感じる陽気でした。お昼に船宿を出船し、町会長のご挨拶をいただいてお花見スタート。美味しい食事をしながら船内の窓を開けて外を眺め、参加者の皆さんが歓声を上げて喜んでいました品川を出船し、レインボーブリッジを下から眺めながら隅田川へ。全員で屋上デッキに上がり記念撮影。

　幅広い世代が集まり、参加者の皆さんが笑顔でいる光景を見ていて、今後の町会活動がますます楽しみになりました。その後同じルートで船宿まで戻るときも笑顔のまま帰ってきました。楽しかった、最高だった、の言葉を残して桜まつりは終了しました。

**記事作成者**　荏原四丁目　厚生部　西山　幸男

まちかど　222号　令和6年6月発行号　表面　音声案内終了